

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 トレスポ長岡京		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 26日		~ 2026年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	2026年 2月 17日		~ 2026年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置は適切であるとの回答が多かった。 環境も適切な広さや清潔で心地よく過ごせるようになっているとの回答が多かった。	状況により(例えば運動プログラム実施時に安全面で心配な時)は二人体制にしたり、個室での療育中に陪席でフォローがあったりする	お子さまやプログラムにより必要な人員配置、環境設定をさらに追及していく
2	支援計画に沿った支援、運営や支援プログラムについての丁寧な説明などの評価が高かった	支援計画に基づいて個々に合わせたプログラムを考え、職員間で共有したことを保護者へフィードバックしている	個別支援についてさらに深掘りしていき適切な療育を届けられるよう徹底していく
3	子どもの状況を保護者と伝えあい、健康や発達について共通の理解があることや子育て等への助言、共感的な支援などに高評価をいただいております、子どもが安心して通えており通所を楽しみにしているも評価が高かった	必要に応じて振り返り以外に面談を行い、安心していただけるように信頼関係を築く努力を行っている。	定期的な面談をする回数をもっと増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所やこども園、幼稚園との交流や、その他地域で他の子どもと接する機会がありますか、の設問に対しいいえやわからないの割合が約半数あった	1対1の個別療育のため他児との交流は難しい	同時間帯で関わる子どもたちがいる場合フィードバックなどで他職員が関わりながら交流できるようにする
2	父母の会の活動の支援や保護者会などにより、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族の支援がされているか、また兄弟向けのイベントの開催によりきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど兄弟への支援がされていますかの設問に対し、どちらともいえない、いいえ、わからないの回答の比率が高い	限られた時間の中で他の利用者様との交流が取れない	保護者からの要望があれば交流イベントなどで考えていきたい
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練が行われていますかの設問に対し、どちらともいえない、わからないなどの回答の比率が高かった	放デイでは行っているが児発では時間の関係で行っていない	放デイで行った訓練内容を紙にまとめて玄関に掲示させていく(見てもらう)